

南田中図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和3年10月31日(日) 13時30分～15時
- 2 場所 南田中図書館 2階 会議室
- 3 参加者 利用者 7名
図書館 2名
(南田中図書館長、館長代理1名)
- 4 テーマ 「コロナ禍における図書館サービスについて」
- 5 配布資料 (1)南田中図書館でもウイルス感染防止対策(施設、イベント)
(2)令和2年度・3年度 実施事業一覧
(3)図書館だより最新号
(4)近日開催予定イベントチラシ
- 6 次第 (1)南田中図書館長挨拶
(2)図書館職員紹介
(3)参加者自己紹介
(4)図書館概要説明
(5)南田中図書館長挨拶

南田中図書館利用者懇談会 会議録

1. 南田中図書館長挨拶

本日は、南田中図書館利用者懇談会にお越しいただきありがとうございます。南田中図書館館長でございます。

利用者懇談会では、練馬区立図書館全館で10月27日から11月9日の読書週間に合わせて各館の館長が主催する懇談会を行い、地域のご意見やご要望を伺い、図書館で協議しまして、ホームページ等で改めて皆様にお伝えするものとなっております。光が丘図書館のみ今年度は11月20日に実施予定です。今回は全館共通して「コロナ禍における図書館サービスについて」というテーマで懇談会を行いたいと思っております。南田中図書館について懇談していただく場という事で、館独自で答えられないような、区立図書館全体に関する事についてはお答え出来ない場合がありますのであらかじめご了承ください。その際は、統括しています光が丘図書館と調整して、ホームページで回答させていただく予定です。また、よろしければ11月20日に行われます光が丘図書館での懇談会にご参加ください。よろしくお願いいたします。

2. 図書館職員紹介

館長代理 1名

3. 参加者自己紹介

4. 事業紹介等

(1) 事業紹介

ア 令和2年度実施事業について

イ 令和3年度実施事業について

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策について

ウイルス感染防止対策にかかる質疑

5. 懇談

利用者 棚からとった本をいれるような場所はないのですか。

図書館 本来であればカゴ等を設置するところですが、南田中図書館は通路等が狭いため設置できないのでカウンターにお持ちくださいという対応をとっています。

利用者 雑誌等をパラパラ見ようとしたときに都度カウンターに持って行くのでは大変ではないでしょうか。

図書館 実際、本をカウンターにお持ちいただくという運用も100%徹底していくという事を図書館として推奨している状態ではなく、ご協力いただいている状況です。図書館に入る前に手指の消毒と手洗いをさせていただくようにご案内しておりますので、本を使う前に手をきれいにさせていただいているという前提で行っているところであります。

利用者 土曜おはなし会にいらっしゃる方はかなり協力的でやりやすい。ただ、ここにいらっしゃれないお子さんもいるので小学生の図書館ツアーのように保育園、幼稚園を招いてツアーのようなことはできませんか。

図書館 コロナ禍以前は図書館見学ということでいらっしゃる保育園、幼稚園がありましたが、コロナ禍になり図書館側が受け入れ可能としてご案内をしていることはありますが、施設側で外出を控えている場合が多く、来館されることが非常に少ないです。出張おはなし会として私たちが施設に赴く形では、昨年末ぐらいから受け入れて下さる施設もありますが、出張おはなし会の受入も止めている施設もあるので、コロナ禍が収束した際には再開できると良いと思っています。図書館としてもイベントが行えないことでそれらの施設と関係が切れてしまう事を避けるため、定期的に連絡をとりあっています。

利用者 おはなし会の頻度について教えてください。

図書館 館内で実施しているものとしては、乳幼児向けの「ニコニコあかちゃん」が月2回、科学や自然に絡めたお話をしている「ワンダーおはなし会」が偶数月1回、2部制で実施5歳以下のお子さん向けの1部と6歳以上のお子さん向けの2部で実施している「土曜おはなし会」月1回です。出張おはなし会をコロナ禍前は年十数回実施していましたが、現在は年3回から4回の実施となっています。コロナ禍となり実施できていませんが、保育施設などを対象として図書館に直接来館して頂

くご招待おはなし会、発達に不安があるお子さんを預かる保育施設からの依頼で、他の保育施設との合同おはなし会を以前は実施していました。ふるさと文化館分室が主催するおはなし会「絵本とあそぶ会」に年3回スタッフを派遣しており、8月に練馬美術館の馬場のぼる展にあわせて猫というテーマで行った際は50名以上の参加がありました。本日もふるさと文化館分室でちょうど実施しているのですが、事前に50名以上の応募があると連絡がありました。コロナ禍前は高齢者施設の出張おはなし会を年10回程度実施していましたが、現在はコロナ禍という事もあり、実施できていません。高野台駅の高架下にあるまちかどケアカフェこぼしでリサイクルブックフェアとして図書館で廃棄する資料をリサイクル本としてお持ちして、来場者の方にお持ち帰りいただくというイベントも行っています。その際、おはなし会ではありませんが、ブックトークを行っています。

利用者 児童館に来る中高生から図書館では2時間勉強できるが、そのあとは違うところに出ないといけないというルールがあると聞いたが、これはそういうルールに変わったのかそれともコロナ対策としてのルールなのかどちらでしょう。

図書館 コロナウイルス感染防止対策として、練馬区立図書館では入場整理を行ったうえで通常開館を行っています。その入場整理のために館内での滞在を2時間程度にさせていただくことを利用者の方にご協力いただいている状況です。南田中図書館は閲覧席が非常に少ないため、滞在時間の目安の時間内で多くの方に利用していただくために1階閲覧席を2時間制として運用しています。

利用者 以前行ってた会議室の閲覧席開放は行っていないのですか。

図書館 コロナ禍になり会議室の閲覧席利用は中止している状況ですが、夏休みのみ土日開放を行いましたが、利用される方は少なかったです。現状、東京都としても飲食店などに出されている自粛要請等が解除されつつあるので、会議室の開放や館内での飲食についてなど協議しているところではあるので、今後解放される可能性はありますが、現状では中止しています。

利用者 調べる学習おたすけポストと本のおまかせセットがとても良い取り組みだと思いました。これは、南田中図書館だけの事業なのか、また、コロナ禍だからこその事業なのでしょう。

図書館 調べる学習おたすけポストについては南田中図書館独自の事業です。他館では調べる学習お助け隊と言って、夏休みの期間中に調べ学習を支援するスタッフ配置するというところもあります。南田中図書館でも本来はスタッフを配置する形で実施できないか検討していたのですが、ポストの形式で実施することが感染防止対策としては良いのではないかとということで今回の形式で実施しました。今年度実施してみて、ポストを利用するお子さんはもちろんいらっしゃいましたが、すぐ回答が欲しいという声も多かったので来年度同じ形式が実施するかどうか検討しますが、何らかの形で、お子さんたちの調べる学習を手助けする事業を行えたらと思っています。

おまかせセットについては区内の他の図書館でも実施しているところがあります。

すが、区内の図書館で必ず実施するイベントではないのでおそらく実施していない館もあるかと思います。おまかせセットと全く同じではありませんが、毎年1月に本の福袋を実施しています。これは、図書館のスタッフが選んだ本を袋に入れて中が見えない状態で中に入っている本のヒントのようなものが袋には書かれており、その見出しをみて本を借りていくというものです。本の福袋については全館で実施しています。おまかせセットについては、あらかじめそのジャンルの本を集めて置いておく必要があります、この時は、書架に入れられない時期に行ったため、書架の間の通路にあらかじめ選んだ本を置いておけましたが、通常通り開館している状況では置き場的问题があり、好評を頂いた事業なので読書週間に合わせて等できると良いとは思っていますが、常設することはなかなか難しいです。

利用者 大人のためのレファレンスサービスがあるが知らない方が多いのではないのでしょうか。チラシを配るなど宣伝してもいいのではないかと思います。

図書館 レファレンスサービスを行ってはおりますが、レファレンスサービスをポスターなりチラシなりでの案内は行っていなかったの、確かにサービスを知らない方からするとその存在自体を知らないのではないかとご意見を聞いて感じました。今のご意見を参考にレファレンスサービスがあるということを皆さんに知ってもらえるように考えていきたいと思ひます。

利用者 共働き家庭は本と触れあう機会が取れないことが多いので共働き家庭のお子さんが、本と触れ合う機会が取れる方法があるとよいのではないかと思うのですが。

図書館 今回の資料には載せていませんが、夏に未利用者アンケートを実施した際にも図書館に来る時間がなかなか取れないという方が多くいらっしゃったので、そういった方々に向けてどういったサービスができるのか考えていきたいと思ひます。

利用者 上石神井には受取窓口がありますが、駅のところなどに窓口があると良いと思うのですが増えないのでしょうか。

図書館 練馬区立図書館全体に関わることなので、この会で回答できるものではないのでご意見があったことを担当部署にお伝えします。

利用者 練馬区こどもまつりに出ているのは図書館ではないのですか。

利用者 別の読み聞かせ団体さんだと思います。

利用者 図書館利用者の年齢層はどうなっていますか。

図書館 年代別での利用統計を取っていないので、カウンター等で接している感覚になってしまひますが、一番多いのは高齢者で特に南田中は土地柄の部分があるかなとは思ひます。次いで多いのが乳幼児と小学生とその保護者の年代の方が多ひのかなという印象があります。イベントの参加者やカウンターでの対応を通して感じることは、中学生以上から20代から30代いわゆる子育てをしていない方というのが図書館にいらっしゃる頻度が少なくなっているのかなと感じています。

利用者 コロナ禍でなくても図書館の抱える課題はどう思ひていらっしゃいますか。

図書館 先程、年代のところでもお伝えしましたが、若い世代の方の参加が難しいと感じています。図書館としてそういった世代の方を呼び込むためのイベントを行った

としても、実際にその世代の方に来ていただけないという事がある。イベントが無いから来ないというわけではなく、イベントを行ってもこないというところがありますが、その一つとして、利用する世代の方 10 代後半から 20 代、30 代の方はやはり忙しいのでなかなか来る時間が無いというのものもあるかもしれないですが、来てほしい世代に対して図書館からの情報発信、チラシやホームページなど行ってはいるものの、実際に来てほしい世代に届いているのか、届いていないんじゃないかなというのを感じています。告知をどのようにすればよいか、どういったサービスを使えばよりその世代の個々の方に届くのかというのは具体的な案はまだ出ていませんが、以前言われたことがあるのは、練馬区では LINE を使ったイベント案内が来るものがあるが、図書館ではそういったことはされないのですかというご意見がありました。このように、LINE に限った話ではないですが、今やっていて効果がある告知方法を調べて図書館で利用できないかということは今後の検討課題として改善していきたいところでもあります。

利用者 イベント集客を図書館だけに頼るのではなく、実施者側のネットワークでも発信していかないといけないなと感じています。図書館に来てねという事とイベントに来てねということはパワーが変わってくると思う。あくまでもイベントに中高生、青少年世代に来てほしいとなった時に、会場は図書館です。では、イベントアターが来てほしい層にどういったアプローチをしていくかというところが大きいと感じています。図書館さんにすべてお任せしますという姿勢はちょっと違うのかなと思います。この層に来てほしいという事は毎年懇談会の話題としてでますが、以前もお話したと思いますが、実際に図書館で受け入れている中学生の職場体験生がイベントに参加してくれたことがありましたが、来て下さると場がすこし色が多彩になるというか、中高生からご高齢の方まで参加して頂いたことで、イベントに厚みが出たように感じました。やはり、この層にはきてほしいと再認識しました。

利用者 最近の若い人は借りるのは来るけど返すの面倒くさいという心があるようでそうすると、日にちが伸びていったりして返すのが嫌だとなっている。一度は返しに来るが、また借りていくとまた返さなければならないというところがすごく横着というところがあると感じます。返す期間を延ばすと忘れてしまったり、返却ポストを増やしても汚されたりする可能性もあるしどうしたらよいでしょう。

図書館 何か新しいことを始めようとするときデメリットだったり課題だったりはずきものかなというところもありますので、デメリットよりもメリットの方が上回る方策を考えるという事をさせて頂けるといいのかなと感じています。

利用者 今の人はスマホで本を読んでいます。夏休みに実施したカタツムリの型を取ってオリジナルのカタツムリを作る工作のように、小さいころからそういう実際のものに触って、本も実際のものに触ってもらって育ってあげればと期待しているところはあります。

図書館 やはり中高生や 20 代から 30 代の方が全くいらっしゃらないわけではないですが、今いらっしゃっている方の多くは小さい時から本を図書館で借りられているという方が多いと思うので小さい時からの読書への導入、本との結びつきの部分を図書館でやっていけると良いのかなと思います。乳幼児のころからちょっとずつ本に親しんでもらえたら、全員がそうとは言えませんが、今、来ていただけない年齢層も来ていただけるようになるのかなと感じています。

利用者 図書館はコミュニティの中心となっていると思うが、学校との結びつきはどこまでやられているのか、学校が図書館のイベント参加を支援しているということはあるのですか。

図書館 図書館でのおたすけポストについて、今年度南田中小学校で全校生徒にチラシを配布してもらいました。他の小中学校についてはポスターを送付して校内で貼りだしてもらいました。その他のイベントについても、学校の図書室に図書館のイベントを案内する掲示板があってそちらの方で掲示してもらったり、図書室外の廊下に掲示してもらったりといったところでご協力をお願いしています。今年度実感したのは、青少年のイベントにユースサポーターというものがあり、これは月に 1 回、第 2 土曜日に対象が中学生以上 20 歳前後までとなっていますが、図書館で館内のイベントを企画したり館内の装飾をしてもらうボランティアを募集しています。昨年度まで参加者が少なかったのですが、今年度は学校支援を行っている担当校の全校生徒に案内チラシを配布してもらったところ参加者が倍になりました。これはユースサポーターに限らずではありますが、廊下にチラシを貼っていても子供たちにはあまり届いていないのかなと感じました。本当に一人一人に対してこういうものがあるよという事を伝えていかないとなかなか難しいという事をユースサポーターの募集を一人一人に行ってみて感じたところです。さすがに、全校生徒にチラシを配ることはかなりの量になるので、全てのイベントに対してできる事ではないのですが、例えば全校集会で紹介してもらえると一人一人に情報が届くのかなと感じています。

利用者 学校の先生は図書館使っているのですか。

図書館 南田中小学校の先生はお隣という事もあるので良く利用されているようです。

図書館 ほかの学校の先生についても利用されているとは思いますが、カウンターで伺っているわけではないので何とも言えません。

利用者 子供は、お便りをもらっても結構カバンの中にしまいっぱなしにして親も気づかないことがあるので、先生に保護者会でアピールしてもらおうよう頼んでみるのはどうですか。

図書館 保護者会自体は学校でされていると思いますので、そこで図書館のことを取り上げてもらうとなると、こちらでお願いできるのか所管部署と相談してからという事になるかと思います。

利用者 地域の学校と図書館で話し合う機会はないのですか。

図書館 現在、南田中図書館では学校支援を行っている支援校が小学校4校中学校2校あり、そこには支援員がおりますが、その支援員と学校の先生との打合せは月に一回行っています。館長は年度初めの挨拶で学校に伺ったり、今年度は調べる学習コンクールについてのお話という事で小学校と打合せを行ったりしました。コロナのためここ2年ほどは書面での開催になっていますが、年に1度支援校との懇談会のようなものも行っています。

6. 南田中図書館長挨拶

以上を持ちまして懇談会は終了とさせていただきます。皆様貴重なご意見を出していただきありがとうございました。